3学年英語科学習指導案

日　時　平成13年8月29日　水曜日　３校時
学　級　３年〇組（男子18名 女子16名 合計34名）
授業者　北上市立上野中学校　　高 橋　明 浩

1　単元名　　Let's Read 1　A Mother's Lullaby（東京書籍New Horizon Book3）

2　単元について

⑴　教材観

Lte's　Readは、まとまった量（300～400語）の文章を読解する単元である。本単元は、児童文学作家である大野允子さんが広島の原爆について書いた絵本『かあさんのうた』を英訳したものである。原爆の悲惨さや残酷さについては、長い年月が経っていることと遠く離れた広島市でのできごとだったことから、生徒は社会科で学んだ程度（東京書籍の歴史教科書においては、写真１枚と５行程度の説明）の知識しか持っていない。そこで、本単元の学習を通して原爆とはどういうものなのか、どんな被害があったのかなどについて、現実問題として実感できるような情報も与えながら指導していきたい。

⑵　生徒観

この学級は、全体として発言はあまり見られないが、英語に対する興味が高く前向きに学習しようとする生徒が少なくない。学年全体の傾向として、聞き取り能力はかなり高い一方で、英語を読んで理解する力や英語で書いて表現する力は低目である。上位生徒は理解力・表現力ともにかなりのレベルまで行っている一方で、アルファベットさえ満足に書けない生徒もいるなど学力は大きく開いていて、指導に困難をきたしているのが現実である。

通常行う授業のレベルとしては、単語やイディオム・新出文型などは基礎・基本の徹底を意識して下～中位の生徒を対象に指導しているつもりであるが、作業をさせる場合には、早く終えてしまう上位の生徒に対してプラスアルファの課題（ワークのページを指示する、発展問題をワークシートにつけるなど）を与えることにしている。

3　指導目標

・単元全体を通して黙読し、大まかなストーリーの流れを理解することができる。
・ワークシートによる作業を通して、要点を把握することができる。
・原爆というものについて、その概要と悲惨さについて考えることができる。

4　指導計画（８時間扱い）

・全文を聞き取らせ、概略を把握させる	１　時間
・P.34の内容を理解させる	１.５時間（本時１／１.５）
・P.35の内容を理解させる	１.５時間
・P.36の内容を理解させる	１.５時間
・P.37の内容を理解させる	１.５時間
・Let's Tryとまとめ	１　時間

5　本時の指導

⑴　本時の目標

〇Small Talkにおける教師の質問内容を理解し、英語で答えることができる。
〇P.34の単語・イディオムを発音でき、意味を確認できる。
〇ワークシートを通して、P.34の内容を理解することができる。

⑵　指導の構想

本時では、擬人化された木の存在、その木が母子の幸せな場面を見て原爆投下のようすを回想した場面までの流れを理解できることをねらう。作業の場面では、努めて教え合い学習を行わせ、全く活動しない生徒がいないような工夫をしていきたい。

実際の指導では、次のような下位行動目標を設定し、①～⑥まで段階的に指導していく。

⑦　本文の英文を聞いて、穴埋め（ディクテーション）ができる。
⑥　本文の内容について述べられた英文を聞いて、その正誤が判断できる。→TFチェック
⑤　本文の内容について書かれた英文に対し、英語で答えられる。→Q&A（上位生徒のみ）
④　指導者による本文の説明を聞いて、大切な部分についてメモすることができる。
③　プリントの穴埋め（和訳）を解いてp.34の要点が分かる。
②　PCを見ながら本文を聞き、教師が与えたポイント２つについて聞き取ることができる。
①　新出単語・イディオムの意味と発音が分かる。

⑶　本時の展開

段階	時間	学習内容	生徒の活動	配慮事項
導入	1 14	1 あいさつ 2 Small Talk	・元気よくあいさつをする。 ・教師の英問３つに英語で答える。 － － －	 ・答えられない場合は支援する ・できれば、追加の質問をする ・３問目は質問と回答をノートに書かせる
展開	4 30	3 新出語句の導入 4 P.58の本文の理解	・文字を見て読み方を推測し、続いて教師の後について発音する。 ・CDを聞いて、聞き取りのポイントについて聞き取る。 ・本文を黙読し、ワークシートの空欄を埋める。 ・教師の問いに答えながら解答する。 ・詳細な内容、文型などについての説明を聞く。 ・TFチェックで聞き取りながら内容を　確認する。 ・ディクテーションで空欄を埋める。 ・ワークシートで自己評価を行う。	・フラッシュカード使用 ・CDリピーターとPC使用 ・ポイントはノートにメモ ・教科書使用 ・助け合いを推奨する。 ・上位の生徒はQ&Aに挑戦 ・Q&Aは答を簡単に言うのみ ・必要に応じてメモをとらせる ・TFの英文は教師が読む ・1,3回目はCDで聞かせ、2回目は教師が読む
終末	1	6 次時の予告 7 あいさつ		

評価

〇Small Talkにおける教師の質問内容を理解し、英語で答えることができたか。
〇P.34の単語・イディオムを発音でき、意味を確認できたか。
〇ワークシートを通して、P.34の内容を理解することができたか。